

# 図書だより

長浜北星高校・長浜北星高等養護学校

H29年発行

## 6月号

### ○もうすぐ体育祭

中間テストも終わり、体育祭が近づいてきましたね。せっかく体育祭に出るんだったら、少しでもいい成績を残して、目指すところはやっぱり優勝☆ そんな体育祭前に、オススメな本を紹介します。



「EXILE フィジカル  
トレーナーが教える  
体幹トレーニング」

吉田輝幸／著

「アスリートのための  
食トレ」

海老久美子／著  
まずは食べることから



「ザ・ベスト  
ストレッチ」

中野ジェームズ  
修一／著

「スポーツ栄養士のキ  
ッチンから」

こばたてるみ／著  
まずは食べることから



「一瞬の風になれ」  
佐藤多佳子／著  
熱くなれるリレー  
小説の定番！



「きれいに作れ  
るCOS衣装」  
森岡圭介／編  
クラスアピール  
に！

### ○雨に関する本



「雨の名前」

高橋順子文

日本では天気に関する言葉がたくさんあり、雨の名前もその一つです。

・天泣（てんきゅう）

晴れ渡った空から降る雨

・鬼雨（きう）

鬼の仕業のような激しい雨

他にも、せみしくれ さくらあめ きう さいるいあめ おんなつゆ 蝉時雨、桜雨、樹雨、洒涙雨、女梅雨など、美しい名前がたくさんあります。雨が一番降るこの時期に、雨の名前と合わせて、雨を味わってみましょう。

### 雨のつく小説



「雨の恐竜」

山田正紀



「地下街の雨」

宮部みゆき



「レインツ  
リーの国」

有川浩



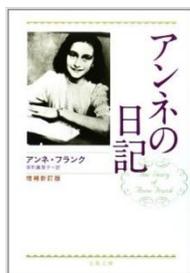
「君がいると  
きはいつも雨」

山田悠介

### ○雨の日を楽しもう

6月に入ると、梅雨前線のせいで、雨の日が多くなりますよね。けれど、雨の日もとらえ次第で、良い日になります。図書館では、入口入ってすぐのところに、「雨の日を楽しもう」という特集を設置しています。雨の音が似合う本や、雨に関する本を用意しています。ぜひ、図書館まできてみてください。

## ○6月12日は日記の日



「アンネの日記」  
アンネ・フランク

日記の日とは、1942年6月12日、ユダヤ人の少女アンネ・フランクによって「アンネの日記」が書き始められた日として、定められました。

日記には、ナチ占領下という異常な環境で青春を過ごした少女の夢や悩みがアウシュビッツへ送られる前まで綴られています。

ブログやSNSとは違った、誰にも見せないために書かれた日記というものに触れてみるのもいいかもしれませんね。



「富岡日記」  
富岡製糸場  
での日記



「馬追い旅日記」  
自然がたくさん



「のほほん絵日記」  
さくらももこ  
癒し系日記



「枕草子」  
日本の元祖日記

## ○日記で一つ、怖い話

日記にも様々な種類があって、その一つに、夢日記というものがあります。これは文字通り、自分の見た夢を日記に記すというものです。この夢日記、何が怖いのかというと、夢を書くという具体的な行為によって、脳が現実と夢の境界線を曖昧にしてしまうことがあるそうです。特に悪夢や不吉な夢などを日記につけ続けると、最終的に人格崩壊を招くこともあるようです。フロイトは夢日記をつけていたそうですが、専門家ならまだしも、素人は手を出さないほうがいい危険な日記なのかもしれませんね。

## ○今月のおすすめ本



「月と六ペンス」  
サマセット・モーム

この物語の大まかな内容としては、四十を過ぎたストリックランドという男が、家族や仕事など、全てを捨てて、絵描きになることを望むお話となっています。正気と狂気の中で人間の本質に迫るモームの代表作です。

物語の主人公のモデルである画家のゴーギャンは、6月7日生まれ。本と一緒にポール・ゴーギャンの絵も味わってみては☆

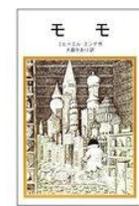


今年度司書として、お世話になります、田中祐季です。少しずつおもしろい本を紹介したいと思います。みなさんのオススメな本や好きな作家さんについて、気軽に教えてください。

## ○高校生で読んだ、今でも好きな本



「海辺のカフカ」  
見栄から入ったのに、いつの間にか虜に。一番初めに読んだ村上本。



「モモ」  
何度読んでも、引き込まれる世界観。モモに出会ったら、きっと何かが変わる！